

[トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [ごみ・リサイクル](#) > [リサイクル](#) > やってみよう！！段ボールコンポスト

やってみよう！！段ボールコンポスト

更新日：2013年7月9日

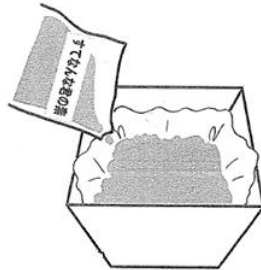
段ボールコンポスト「すてなんな君」を知ってますか

段ボールコンポスト「すてなんな君」を知っていますか。
 すてなんな君を使えば、家庭から出る生ごみを、簡単にたい肥にリサイクルし、ごみ減量できます。
 使い方は簡単。毎日出る生ごみを段ボールコンポスト「すてなんな君」に入れて、かき混ぜるだけ。
 室内や、アパートのベランダなどの雨に濡れない場所があれば、嫌な臭いもなく、簡単に生ごみをたい肥にすることができます。
 できたたい肥はとっても上質。ガーデニングや畑、プランターなどで使いましょう。
 もし、たい肥が不要なら、JA糸島アグリ店に持ち込めば、引き取ってもらえます。
 あなたも今日から段ボールコンポスト「すてなんな君」でごみ減量に取り組んでみませんか。



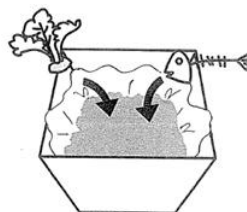
段ボールコンポスト「すてなんな君」の使い方

1. シートを敷いた段ボールに「すてなんな君の素」を入れます。



2. 生ごみを入れます。細かくきざんだほうが分解が早いです。

1日1キログラムくらいまで。



3. 発酵を促進させるため、生ごみの上に「天神様の地恵」を一握りふりかけて、全体をよく混ぜます。

ごみ・リサイクル

お知らせ (ごみ・リサイクル)

ごみの分別・出し方

リサイクル

こんなときは



4. フタをして、トレーの上に寄せ、できれば日当たりのよい場所に置きます。

注：必ず雨が当たらない場所に置いてください。



価格

すてんなんな君ゼロ

定価：1,020円
市補助額：500円
本人負担額：520円

すてんなんな君アロマ

定価：1,020円
市補助額：500円
本人負担額：520円

すてんなんな君Jr.

定価：900円
市補助額：400円
本人負担額：500円

すてんなんな君詰替セット

定価：800円
市補助額：400円
本人負担額：400円

糸島市民の人はJA糸島アグリ店舗で補助券に氏名等を記入し申請すれば、市の補助を受けることができます。

販売店舗

販売場所：JA糸島アグリ店舗
住所：糸島市志摩小富士14番地34
電話番号：092-327-2740

下の周辺案内図をご覧ください。

コンポストの購入補助制度

プラスチック製や機械式などのコンポスト（生ごみ減量化器材）も、ごみ減量できるものであれば、市からの購入補助制度があります。
補助率は2分の1（上限2,500円）です。
購入後6ヶ月以内に、生活環境課に申請してください。詳しくはお尋ねください。

周辺案内図

地図はドラッグ操作でスクロールします。



お問い合わせ

市民部 生活環境課
窓口の場所：本館1階
代表番号：092-323-1111
ファクス番号：092-321-1139

環境・エネルギー係
電話番号：092-332-2068

ごみ減量推進係
電話番号：092-332-2068

環境施設係
電話番号：092-332-2068

[> メールでお問い合わせ](#)

このページに関するアンケート

情報は役に立ちましたか？

役に立った ふつう 役に立たなかった

このページは探しやすかったですか？

探しやすかった ふつう 探しにくかった

このページに対する意見等をお聞かせください。

掲載して欲しい情報などの具体的なご意見を記入してください。

寄せられた意見などはホームページの構成資料として活用します。なお、寄せられた意見等への個別の回答は、おこないません。

住所・電話番号など個人情報を含む内容は記入しないでください。

ダンボールコンポストで たい肥づくり

ダンボールコンポストの特徴

- ◎ 臭いがほとんどしない
- ◎ 電気を使用しない
- ◎ 庭がなくても、ベランダで実施可能
- ◎ 生ごみを投入しても、ダンボール箱の中身がほとんど増えない
- ◎ 特殊な菌を入れる必要なし

① 準備をしよう

必要なもの

- ダンボール箱
- ピートモス (15L)
- もみがらくん炭 (10L)
- 設置台 (ビールケースなど、通気性のよいもの)
- 温度計
- スコップ
- ダンボール箱用キャップ (布など、通気性のよいもの)
- 2重底用ダンボール



ダンボール箱

- ・ 防水加工していないもの
- ・ 底が針止めか、紙テープで止めてあるもの
- ・ ダンボール自体が2重構造のもの
- ・ 「2重底用ダンボール」で底を2重にする



→ 通気性の確保と、ダンボール箱を長持ちさせるための工夫

ピートモス、もみがらくん炭

※ どちらもホームセンターや園芸店で販売されています

- ピートモス：ミズゴケなどが長い年月をかけて堆積したもの。通気性や保水性がよい。(弱酸性)
- もみがらくん炭：もみがらを炭化させたもの。通気性や保水性、消臭効果がある。(弱アルカリ性)

→ この2つを混ぜると……

どちらもすき間が多く、通気性や保水性がよい。

弱酸性と弱アルカリ性のため、ちょうどよく中和される。

→ 生ごみを分解する微生物が住みやすい環境が作られる

② 生ごみを入れてみよう

ダンボール設置

(1) 「2重底用ダンボール」でダンボール箱の底を2重にします

※ 底だけでなく側面も2重にすると、より丈夫になって長持ちする



(2) 「ピートモス(15L)」、「もみがらくん炭(10L)」をダンボール箱に入れて、よく混ぜ合わせます

※ これは一般的な4人家族の場合の例であり、生ごみの量に応じて2つの基材の量を変えて構わない

※ ピートモス：もみがらくん炭=3：2の割合での配合が目安

(3) 日当たり、風通しが良く、雨がかからない場所に設置しましょう

※ 屋外に設置するほうがよいですが、室内でも使用は可能



(4) 設置台(通気性のよいもの)を使用し、底を上げます

※ ビールケースや空のダンボール箱をもう一つ用意して、それを設置台に使用するとよい

生ごみ投入

(1) 1日に500g~1kg程度の生ごみを入れます

※ 使い始めの数日間は、生ごみを多めに入れてもよい

※ 生ごみはなるべく小さくして入れると分解が早い



(2) 生ごみ入れたら、よく混ぜてください

※ 生ごみを入れない日も、なるべく毎日混ぜる



(3) 混ぜた後は、温度計を挿しておきます(生ごみを混ぜた付近に挿す)

※ 分解が始まると、微生物の活動熱で温度が徐々に上昇し、1~2週間で40℃程度になる

(4) 「ダンボール箱用キャップ」をかぶせておきます(虫除け対策)

※ 右の写真では、不要な布を使って、キャップとして使用している

※ 別のダンボール等をキャップの代わりに使用してもよい



◇ 毎日(1)~(4)を繰り返します。約3ヶ月投入し続けることができます。

投入した生ごみは分解されるため、ダンボールの中身は、ほとんど増えません。

◇ 生ごみの投入を開始して間もない時期は、生ごみの分解に1週間~10日程度かかりますが、温度が上昇し微生物の活動が活発になると、分解しやすいものは数日で形がなくなります。

分解されにくいもの

硬いものや繊維質のものは分解されにくいので、投入を控えましょう。

※ 卵の殻、豚や鶏などの骨、貝殻、たまねぎの皮、梅干の種など

どうしても入れたい場合は、細かく砕いて入れましょう。また、草や花はほとんど分解されません。

③ たい肥として使うには

熟成

熟成とは、生ごみを完全に分解させて、安全なたい肥にするための処理です。
ダンボール箱の中身を、熟成せずたい肥として使うと、植物が枯れる原因になります。

使用開始から3ヶ月程度経過すると、次のような症状が現れてきますので、熟成を行います。

- ・ 全体が黒っぽくなり、かたまりが多くなってベタつきがでる
- ・ 温度が上がらず、生ごみの分解が遅くなる



熟成の手順

- ◎ 生ごみの投入をやめる
- ◎ 1週間に1回程度水分を補給し、数日に1回混ぜる
- ◎ 熟成をはじめてから数週間～1ヶ月後、温度が上昇しなくなったら終了

たい肥の使用方法

たい肥と土を1：3から1：4程度に混ぜて使用

たい肥の保存方法

乾燥させてビニールに入れ、口をしっかりと閉めて保存

④ 生ごみ分解のしくみ

生ごみの分解について

生ごみは、約8割が水分です。分解には、たくさんの微生物が関わっています。
ダンボールコンポストの中で、微生物が繁殖しやすい状態を作ることによって、生ごみが分解されています。

生ごみを分解してくれる微生物の特徴

- ◎ 微生物が活動するためには、生ごみによるエネルギー、適度な水分、酸素が必要
- ◎ 生ごみは、水と二酸化炭素に分解されて、ダンボールの全面から空気中に蒸発する
- ◎ 温度が15℃以上にならないと、微生物がほとんど活動せず、分解が進まない
- ◎ 40℃程度まで上げると、微生物が活発に活動する（それ以上の温度になってもよい）
- ◎ 微生物が活動することにより熱が発生。温度の上昇は、微生物が活発に活動している証拠

臭いが少ないのは??

生ごみを分解する微生物には、次の2種類の微生物があります。

好気性微生物：分解に酸素を必要。分解速度が速い（水と二酸化炭素に分解）。臭いが少ない。

嫌気性微生物：分解に酸素を必要としない。分解速度が遅く、形が残る。腐敗臭が強い。

ダンボールコンポストでは、通気性を保つことによって、酸素がある状態で分解が進んでいるため、好気性微生物による分解になり、臭いが少ないのです。

⑤ こんなときはどうする?? (Q&A)

生ごみの分解がうまくいかない

原因として考えられるものはいくつかあります。必要に応じて、対処をしてみましょう。

- 温度が低い ⇒ 15℃以上にならないと微生物が活動せず、なかなか分解が進みません。
(エネルギーが足りない) 生ごみが野菜くず中心だと、このように分解が進まない場合があります。
廃食油や米ぬか、たんぱく質(肉、魚)、糖質のものなどを投入して、日当たりが良い場所へ移すと、微生物の活動が促進されて温度が上昇します。
また、冬の温度の上がりにくい時期は、室内に入れてみるのもよいでしょう。
- 水分が少ない ⇒ 分解がうまくいかない場合、水分不足が原因となっていることが多いです。
水分の補充には、米のとぎ汁などを使うと、より効果があります。
- 水分が多すぎる ⇒ 基本的に通気性が保たれていれば問題ないですが、生ごみは木切りをしてから投入、通気性のよい場所に移すなどの対処をしましょう。
- 生ごみが大きい ⇒ できるだけ小さくして投入すると、微生物も分解しやすいです。硬いものや繊維質のもの、大きいものは分解に時間がかかってしまいます。
- 混ぜ方が足りない ⇒ 混ぜることによって、生ごみをまんべんなく広げるだけでなく、微生物が分解時に必要とする酸素も送り込んでいます。よく混ぜましょう。

虫がわいてしまった

- ダンボール箱のすき間に、紙テープなど(通気性のよいもの)を貼って、虫の侵入を防ぎましょう。
- 温度を60℃近くまで上昇させると、虫が死滅します。(温度上昇の方法は、上記の「温度が低い」を参照)

カビが生えた

- 表面に白いカビが生えることがあります。好気性菌であり、そのまま問題ありません。

臭いがするようになった

- 一度に大量の生ごみを入れると、温度が急上昇し、臭いが出る場合があります。量を調整しましょう。
- 魚肉類を多く入れた場合も、臭いが出る場合があります。換気の良い所に移して様子を見ましょう。

問い合わせ先

古賀市役所 市民部 環境課 ごみ対策係

Tel: 092-942-1127 E-mail: kankyo@city.koga.fukuoka.jp

<市役所でもダンボールコンポストを販売しています>

[ホーム](#)[暮らし・手続き](#)[子育て・教育](#)[健康・福祉](#)[観光・文化](#)[事業者向け](#)[市政](#)[ホーム](#)

ダンボールコンポストで簡単！生ごみダイエット（平成29年6月15日号）

[2017年6月15日]

あなたが今捨てようとしている生ごみ。実は“ごみ”ではありません。
生ごみを“ごみ”として燃やすのではなく、“資源”として有効活用してみませんか。今回は、そのひとつの方法として、ベランダでも手軽に始められる「ダンボールコンポスト」を紹介します。
詳しくは、クリーンセンター(TEL 89-9278)へ。



今までに、家族で1トンの生ごみを資源化したよ！

【まずは“出さない”心がけ】

日本では、食べ残しや期限切れなどで生ごみとして捨てられてしまうものが、1人当たり毎日お茶碗1杯(約136グラム)になると言われてます。それほど大量に発生している食品ロスは、皆さんが工夫することで、減らすことができます。

- (1)食材を買いすぎない...野菜などを丸ごと買って腐らせてしまうことはないですか。食べきれぬ分だけを買うようにしましょう
- (2)料理を作りすぎない...1回の食事で食べきれぬ量を作りましょう。使いきれない食材は、冷凍保存しておくとう便利です
- (3)食べ残さない...料理を食べ残さないことがごみを出さない基本です。出された料理は残さずに食べましょう

【毎日出る生ごみは“ダンボールコンポスト”へ】

◆ダンボールコンポストとは

家庭から出る生ごみを、ココピート(天然資源の土壌改良材)などの基材とともに厚手のダンボール箱に入れ、かき混ぜるだけで自然界の微生物が生ごみを分解してくれます。

においも少なく、4か月ほどで自家製たい肥の完成です。

◆たい肥で野菜を作ろう!!

6月からダンボールコンポストを始めれば、10月ごろにたい肥が出来上がります。

このたい肥を使えば、ブロッコリーやレタス、小松菜などが作れます。自分で作った野菜は愛着もわき、おいしく食べられます。

また、生ごみから野菜へと、自然のリサイクルを家庭内で身近に感じられます。家庭菜園を楽しみながら、環境への関心を深めてみませんか。



【始めよう！“ダンボールコンポスト”】

◆私も植物も地球も喜ぶ(プレミアム付)コンポスト講座

ダンボールコンポストを始めたい人や、すでに実践中で疑問がある人は、次の講座をご利用ください。

また、ダンボールコンポストだけではなく、育てた野菜のこと、リサイクルのことなどを学べるプレミアム講座も、各日で受講することができます。

コンポスト講座

とき		ところ	プレミアム
6月21日(水)	10時00分～11時30分	青墓地区センター(昼飯町)	A
6月27日(火)	10時00分～11時30分	JA中川支所(中川町)	B・E
6月29日(木)	10時00分～11時30分	エコステージおおがき(室本町)	A・B・E
7月5日(水)	13時30分～15時00分	アクアウォーク大垣(林町)	C
7月6日(木)	10時00分～11時30分	大垣中日ハウジングセンター(鶴見町)	B
7月12日(水)	13時30分～15時00分	(株)大丸(荒川町)	A・B
7月15日(土)	10時00分～11時30分	エコステージおおがき(室本町)	D

A: 地元レストランが“ぐるりん野菜くらぶ”の玉ねぎで作ったコラボドレッシングの紹介
 B: 野菜が喜ぶたい肥の使い方講座
 C: 共栄作物(コンパニオンプランツ)学習
 D: 落葉雑草も簡単リサイクル！
 E: 種まきのコツ

◆“ぐるりん野菜くらぶ”会員募集

“ぐるりん野菜くらぶ”は、集合住宅などにお住まいで、ダンボールコンポストでできた自家製たい肥の利用が難しい人のための会です。自家製たい肥と新しい基材を交換できたり、たい肥で育ったおいしい野菜がもらえたりします。



おいしい旬の野菜と交換

講座の申込や相談、会員の応募は、平日の午前10時30分～午後4時30分に、大垣市環境市民会議(TEL 82-1761)へ

[> 広報おおがき 平成29年6月15日号 目次へ戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった